

・井上有一の書

2017年6月15日.木 — 6月21日.水

OPEN 11:00-18:00 会期中無休

・5月、台湾の故宮博物館に行った。

何よりも顔真卿の書に会えると楽しみにしていたのだが、残念ながら、今回の展示では取り上げていなかった。画帳を見たが、それでも実によかった。

顔真卿は、僕にとって書を好きになった始まりの人である。顔真卿は唐の後期の玄宗皇帝の郡の長であった。安祿山の乱には息子や孫たちを戦争におくって、悲しみ、悶えた人でもある。そんな思いの書のかつて、NHKで見た記憶がある。それは有一を知る前のことだった。

有一に出会って顔真卿の臨書を果てしなく書いていたことを知り、そんな形で顔真卿がまた自分に巡ってきたのである。

そして有一は顔真卿の臨書をしたからこそ、一文字一文字が生きているんだと思うようになった。唐代きっての書家、顔真卿の書と、精神的格闘の果てに「体当たりでどっぷりと一文字大きく書いて、ようやく匹敵する力が出た」と、有一自身も語っている。そうして有一は顔真卿から自由になり、一文字を書き続けていったのです。

今回はちいさな文字が多く集まりましたのでお楽しみです。うつわ菜の花でお会いしましょう。

菜の花店主・たかはしたいいち



・顔真卿 井上有一臨書

うつわ 菜の花

小田原市南町1-3-12
電話 (0465)24-7020

<http://utsuwa-nanohana.com>

小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用【箱根口】バス停下車徒歩3分

● 次回予告 藤井勘埜展 絵画 7月22日.土 — 7月30日.日

